

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
1	「2人材の確保と資質の向上」について、説明にもあるように保育士不足が深刻です。「引き続き、市町村や事業者から状況を伺いながら、様々な角度から保育人材の確保・定着に取り組んでまいります」とあるように、取り組みの具体策を検討する必要を強く感じます。	修学資金の貸付等による保育士資格取得の支援や、「ちば保育士・保育所支援センター」における潜在保育士等への就職支援のほか、市町村と連携して保育士給与に上乘せを行う「保育士処遇改善事業」や各種研修事業等を実施しています。 引き続き、より効果的な取組や手法を検討してまいります。
2	保育士人材確保について、これまでの対策では確保できないことから、新しい手立てはないのでしょうか。離職理由について考察してみたいかがでしょうか。人格形成の大切な乳幼児期の、育ちに関わる人材育成は重要です。卒業すればもれなく保育士資格得ることができます。そして、保育士が不足しているため、その適性の有無に関係なく採用される現実があります。	離職理由としては、職場の人間関係、給料が安い、仕事が多い等が多く挙げられています。そのため、国の基準を上回る保育士の配置や、保育補助者及び給食の配ぜん・清掃などを行う支援員の雇用に要する費用を助成しています。 また、保育所運営についての専門的知見を有するコンサルタントが保育所等を訪問し、園長等に対し、職員との関わり方や職場環境に関する助言を行う巡回支援等を実施しています。 引き続き、より効果的な取組や手法を検討してまいります。
3	新たな施設整備も大切ですが、保護者にとっては、そこで働く保育士の質を含めた人員の確保が非常に重要だと思います。処遇改善も補正予算も毎年増額され令和4年2月には9,000円程度の賃上げがあります。これらの補助の活用を積極的に行う様に、各市町村へ繰り返し通知をお願いします。	引き続き市町村への周知を適切に行ってまいります。
4	一部の市町を除いて、順調に推移している様子です。ご苦労様です。今後は、人材の確保と、利用者のニーズにあった、きめ細かい施策を打ち出すことが、肝要と存じます。千葉県は広く、東京のようにいきませんが、より利用者に寄り添った施策が望まれます。	一部の地域で量的拡充等の保育需要に応じた対策は引き続き必要です。また、人口減少地域にとっては、子どもの数だけでなく生産年齢人口も減少していく中で、いかにして小学校就学前の児童に良質な保育を提供し続けていくことができるのか、そのために重要な役割を果たす保育所を地域社会のために欠かせない社会インフラとしてどのように維持していくのかが、課題となっていると認識しています。
5	待機児童数の解消のための取組は着実に数値に表れています。コロナ禍での預け控えはあるものの、保育士人材の確保・定着のための処遇改善事業、支援事業を一層充実することを期待しています。	本来、保育士の処遇改善については、国において公定価格の引上げなどにより取り組むべきものと考えており、引き続き様々な機会を捉えて国へ要望していきます。なお、保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置を、2月から前倒しで実施することとされています。 千葉県保育士処遇改善事業費補助金の増額については、各市町村及び関係団体の御意見を広く伺い、検討していく必要があると考えています。
6	施設整備が進み、待機児童数が減少傾向にあるのは良い傾向にあると思いますが、保育士不足で受け入れに制限がある状況が気になります。処遇改善など働きやすい環境づくりも進められていますが、保育士養成機関への応募状況、卒業後の進路など見通しはいかがでしょうか。	令和2年度の入学定員2,735名のところ、入学者は1,712名(62.6%)でした。 令和2年度卒業就業者1,658名中、児童福祉施設関係に就業した者は、1,075名(64.8%)、その内県内施設に就業した者は、712名(66.2%)となっています。
7	平成27年から比べると待機児童の減少は、千葉県や各市の対策による素晴らしい実績だと思います。浦安市の幼稚園・認定こども園の実態としては、0歳児の待機児童はいませんが、3歳児以上の園児数が減少し空き教室が増えている状態です。 全体的に1.2歳児の待機児童が多いという現状から、2歳までは保育所、3歳からは幼稚園・認定こども園へと繋ぐ施設などはできないもののでしょうか。預かり保育を利用（働きたい家庭が多くなっているが）しつつ、幼稚園での教育を受けさせたい保護者も多数います。 しかし、受け皿の幼稚園・認定こども園の教員免許のある職員（担任・補助教員・預かり指導員）が足りていないという現状があります。収入の高い民間の保育園が増え公立園から職員が流れている現状があります。	一時預かりを実施している事業者に対し、補助を行っています。
8	施設数や定員数の増加、待機児童の減少は素晴らしいことだと思います。単純に数を増やすだけではなく、質の向上にも力を入れていただきたいです。 また、私の住んでいる地域では、小規模保育所が増えていることにより、近隣の公園に園児が殺到しています。公園内の環境は、タバコやゴミが散乱しており、また危険な植木があったりと、安心安全とは言えません。施設を増やすだけでなく、周辺的环境も気にかけて欲しいです。	保育を必要とする家庭への保育を確実に、かつ、質が確保された形で提供できる体制づくりに向けて、保育の実施主体である市町村と連携して、引き続き取り組んでいきます。
9	施設が整備され定員数が増加しておりますが、地域差が大きく実際の状況が見えてこないように感じます。保育士の確保ができず定員を減らしたり、一時保育事業を休止するといった状況もあります。 一方で、保育関係者の間では、既に少子化が加速しており、今後の定員割れや園児の減少、特に小規模保育所や会社経営の保育施設等の閉園が危惧されていますが、県内の実態はどのようなのでしょうか。	令和3年9月に市町村保育担当課アンケートを実施したところ、設置者変更などを除く実質的な閉園や閉園の相談は全県で数件でしたが、人口減少地域における保育所等の在り方については、検討が必要であると認識しています。
10	幼稚園がこども園に代わっていますが、いまだに幼稚園に入れたいが、働くお母さんには難しいと感じます。預かり保育のみ、民間と提携したり自治体の補助やバックアップもあるとありがたいと感じます。	一時預かりを実施している事業者に対し、補助を行っています。

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
11	<p>待機児が減少傾向にあることは、解消対策に取り組んだ結果だと思えます。しかし、新たな需要に対応するためにも、市川市等が取り組んでいる保育ニーズの分析をし、対応策を考えるのは効果的な方法であると思えます。他市でも取り組めたらいいと思えます。</p> <p>また、人材確保の方策を具体的に考え早急に取り組むことと、現場の保育の質を向上させること（専門性が尊重される魅力的な職場）などが、就職希望者の増加や、生涯働き続ける保育士等の増加につながると思えます。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
12	<p>待機児童が多い地域は都市部のようなので施設数を増やすだけでなく、近隣の環境もしっかり見直し、子どもが伸び伸びと過ごせるよう、安心して遊べる公園の整備、危険のないお散歩道路を整えて欲しいです。</p> <p>また、児童福祉施設である保育所と、教育施設である幼稚園では1日の生活の流れや休日の扱い、給食等が異なっていると思えますので、小規模保育所から幼稚園へ、というのは子どもや親に負担感が大きいと感じています。幼稚園の延長保育を保育園のように利用するのなら、延長保育の内容や人員についても質を高めて欲しいと思えます。</p>	<p>保育を必要とする家庭への保育を確実に、かつ、質が確保された形で提供できる体制づくりに向けて引き続き取り組んでいきます。</p>
13	<p>高齢化が進む中、子育てしやすい地域に子育て世代の若い人達が増加していることは、心強い現象ですが、受け皿の整備、ことにマンパワーの確保が大変と思えます。</p> <p>一方では、子育て世代、子どもの減少が進んでいる地域も少なくなく、そうした地域の人材活用等も解決策の一つと思えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、保育や子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する者に対し、多様な保育や子育て支援分野に関しての必要となる知識や技能等を修得するための研修を実施し、これを修了した者を「子育て支援員」として認定しています。</p>
14	<p>器を作る事で待機児童は解消になるかもしれませんが、肝心の器で就労する人材確保が困難な状況です。</p>	<p>修学資金の貸付等による保育士資格取得の支援や、「ちば保育士・保育所支援センター」における就職支援のほか、市町村と連携して保育士給与に上乗せを行う「保育士処遇改善事業」の実施等、様々な角度から取組を進めています。</p> <p>引き続き、より効果的な取組や手法を検討してまいります。</p>
15	<p>大規模開発地域では、市町村と協力してディベロッパーに保育施設場所の提供をさせる方策は有るのでしょうか。</p>	<p>流山市の例ですが、ディベロッパーに保育所等を整備するよう、大規模開発要綱で定め、行政指導（法的拘束力のないお願い）を行っています。</p> <p>また、上記制度のほか、保育所の設置など一定の条件を満たす子育てにやさしいマンションについては、「子育て応援マンション認定制度」による認定証を市から交付し、マンション販売時に掲示し子育て世代に対してアピール出来るようにすることで、マンション事業者側にもメリットがあるように工夫しています。</p>
16	<p>企業移転、宅地開発及び商業施設誘致など、人口流入の激しい地区は待機児童が増加したことが想像できます。解消地区については、動向調査の根拠をもって、受け皿施設を、適正数を迅速に設置できたことが実績に結びついたものと見受けられます。コロナ禍を背景に、医療施設、観光施設、商業施設等の従事者の転入転出に注視する必要があると思えます。学校の統廃合や集中型の大規模学校の動向にも注意が必要であると思えます。</p>	<p>令和4年度に県計画の中間見直しを行うこととしています。その際は、御意見を踏まえ、見直しを行ってまいります。</p>
17	<p>待機児童解消は市町村における取組の差を感じるどころです。年齢別の待機児童数はわかりませんが、3～5歳児は幼稚園の認定子ども園化や預かり保育が充実した成果もあり、ほとんどいないのではと思えます。待機児童が1～2歳児に集中している状況は、自園でも感じるどころです。</p>	<p>御指摘のとおり、待機児童が1～2歳に集中しており、これらの受け皿整備等が課題となっています。</p>
18	<p>0歳児クラスはコロナの影響もあり入園を控える傾向が強く中々定員一杯にならない一方で、1歳児クラスは4月に入園が集中し、一度に大勢の受け入れができない状況もあります。</p> <p>1歳児が育児休業を明ける時期をずらして入所が確約できるよう育休明け予約の制度があったら、保活に苦勞せずに保護者も安心して育休中に子育てができるのではないのでしょうか。施設側も各月で入園見込がたてば保育者の確保や受け入れの準備ができるのではないのでしょうか。</p>	<p>保育を必要とする家庭への保育を確実に、かつ、質が確保された形で提供できる体制づくりに向けて、市町村と連携し、引き続き取り組んでいきます。</p>
19	<p>地域のニーズによる人口の格差や、住宅開発による人口の増加など、時代の流れによつての突発的な人口の増減があることがわかります。各市でも人口の増減などの把握はされていると思えますが、多数企業の開発など予測が立たないこともあるのではないのでしょうか。</p>	<p>計画は、当該市町村に居住する子ども及びその保護者の教育・保育の利用状況及び利用希望把握調査等により把握する利用希望を踏まえ、それらを分析し、かつ評価する等して作成されます。そのため、予測外の大規模な宅地開発等がなされ、計画と実態が乖離する場合があります。</p> <p>その場合は、各市町村において計画を見直すなどし、計画の修正を図っています。令和4年度に県計画も中間見直しを行う予定です。</p>
20	<p>特にありませんがコロナの影響によるものなどもあるかと思えますので、通常の生活に戻った際に、また、合わせて対策していつてもらえたらいいと思えます。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
21	<p>多くの施策があり、具体的に事業のイメージが理解できませんが、これらの情報が必要としている人に届いているのかと思えます。例えば、P8の88番「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン」に関して、幼児教育アドバイザーが周知しているとありますが、保育所に周知する機会があるのでしょうか。</p>	<p>平成30年度に千葉県モデルプランを作成した際、保育所にも配布をしております。また、保育所からも参加者を受け入れている研修において、講師を務める幼児教育アドバイザーがモデルプランの周知や活用の促進をしております。</p>

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
22	<p>幼児教育アドバイザーは、千葉県全域の幼児を対象としていると思いますが、人数が足りているのでしょうか。また、幼児教育アドバイザーの質の向上をどのようにしているのでしょうか。</p>	<p>派遣依頼の状況からは、人数の不足は生じておりません。 幼児教育アドバイザーの質の向上についてですが、月1回程度、総合教育センターにて打ち合わせや研修等を行っております。また、推薦研修として幼児教育アドバイザー育成研修を行い、次世代のリーダーやアドバイザー育成に努めております。</p>
23	<p>今課題になっているヤングケアラーの問題は、どこでどのように考えたらいいのでしょうか。</p>	<p>ヤングケアラーの背景には福祉・医療・介護・教育等の様々な課題があるとされておりますが、県内においても具体的な課題の抽出及び課題に即した支援を図るため、現在、実態調査について検討を進めております。</p>
24	<p>通し番号87について。子育て広場は、コロナ禍の利用制限が解除された今、需要が高まり、とても利用人数が増えています。子育て中の家族にとって、大切な居場所になっていると思うので、県でも支援者向けの研修や支援事業の拡充に力をいれていただきたいです。 1歳過ぎたら保育園に預けて働く、というスタイルが当たり前のようになってきていますが、そうでない家庭にもしっかりと目を向けていく必要があると思います。 また、保育園で過ごすことで子どもが成長したり、集団でしかできない経験もたくさんあるとは思いますが、家庭でしか味わえない温もりや気持ちのゆとりこそ乳幼児には大切だと思います。働くママパパも、お仕事が休みの日には保育園を休ませて、一緒に広場に行こうかな、と思ってもらえるのが理想的だと思います。</p>	<p>県では、地域において、保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、保育や子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する方に対し、多様な保育や子育て支援分野に関しての必要となる知識や技能等を修得を目的とした「子育て支援員研修」を実施しています。</p>
25	<p>通し番号200について。私の住む自治体で夜22時までの放課後児童クラブが話題になりました。預けられる時間を増やすのではなく、時短勤務で負担のない働き方を推奨するように力を入れて欲しいです。しかし、需要があるということもわかったので、時間を長くするのなら、しっかりとお金もかけて、信念をもって働ける人材を確保して欲しいと思います。保育園についても低年齢から長時間預けられている子どもたちのためにも、人材の質の向上が一番大切だと思います。</p>	<p>放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、県では国の補助金等を活用し運営費等への補助を実施しています。 また、ちば保育士・保育所支援センターにおいて、保育士、放課後児童支援員等の就業等の支援を実施しています。</p>
26	<p>非常に良い取組みですがコロナ禍もあって参加者が少ないのが残念です。国の令和4年度予算案でも子ども・子育て支援の充実のための研修や調査研究事業等の予算も拡充されるので、多くの方が参加できる様に周知の方法や場所・時間の設定をお願いします。</p>	<p>令和4年度において、保育士等キャリアアップ研修については、委託分の研修のすべてを、子育て支援員研修については、総研修数の半数を、放課後児童支援員等研修の資質向上研修の一部を、e-ラーニング等のリモートで実施する予定です。</p>
27	<p>コロナの影響があり、予算消化率が全体的に低くなっているのは、やむを得ないと思います。ただその中で、出産・育児等の消化率が高くなっているのは、望ましい傾向であると思います。人口減少の中で、千葉県をより魅力のある県にするため、子供を産みやすい環境・育てやすい環境を整備していくことが必要であると思われる。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
28	<p>「小学生の放課後対応の充実」プラン2020、P106、「5地域学校協働活動推進委員会」での検討結果を明らかにしてください。また、この検討結果に基づき何が実施されたのでしょうか。</p>	<p>推進委員会において、放課後子供教室と放課後児童クラブの一体的な推進に向け、放課後児童クラブとの一体型となる放課後子供教室の開設初年度は備品整備費が補助対象となることを各自自治体へ周知するとともに、未実施市町村に対して引続き実施を求めていくことを確認し、令和4年度における教室開設予定数の増加につなげることができました。 また、指導スタッフの資質向上に向け、研修講座の持ち方について検討した結果、オンライン開催や感染防止対策の徹底により全ての講座が実施でき、参加者の資質向上を図ることができました。</p>
29	<p>「新・放課後子ども総合プラン」推進について、県教育委員会から市町村教育委員会への働きかけはどのように行われたのでしょうか。</p>	<p>地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）研修講座や放課後子供教室指導スタッフ等研修会において、県からの事業説明の中で触れ、プランの推進について理解が得られるよう努めているところです。 また、本プランが掲げる目標にある放課後児童クラブとの一体型での実施の推進について周知し、市町村において実施が検討されるよう働きかけています。</p>
30	<p>事業番号148「千葉県保育士処遇改善事業」について、県の補助は、市町村が、民間保育士の処遇改善を支援する場合に、補助率1/2かつ保育士1人当たり月額1万円以内の助成となっております。県内において、例えば、財政力のある松戸市では経験年数に応じて月額4万5千円から7万8千円、流山市では月額4万3千円を支給している状況である。財政力が低いと支給額の増額も難しく、保育士の定着を図る上でも、補助額の拡充が必要であると考えます。</p>	<p>本来、保育士の処遇改善については、国において公定価格の引上げなどにより取り組むべきものと考えており、引き続き様々な機会を捉えて国へ要望していきます。なお、保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置を、2月から前倒しで実施することとされています。 千葉県保育士処遇改善事業費補助金の増額については、各市町村及び関係団体の御意見を広く伺い、検討していく必要があると考えています。</p>

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
31	(事業番号12) キャリア教育推進事業…コロナ禍でもより企業、工場、種々の職業の実際が理解できるようなバーチャル見学プランの開発や紹介をお願いしたいです。	夢チャレンジ体験スクールは、様々な職種における職場見学や就業体験、科学・技術体験等の機会を通じて、将来の職業に対する夢を育むことを目的とし、実際の体験を重視した活動を実施しています。今後も、児童生徒にとってよりよいプログラムとなるよう進める中で、コロナ禍におけるバーチャル見学等の実施可能性についても検討してまいります。
32	(事業番号80、81) いきいきちばっ子遊友ランキング…コロナ禍体力の低下が懸念される。みんなで取り組むことの意義や達成感を味わわせる活動や体力テスト項目を意識し、興味づけ、意欲向上につながるような種目開発、見直しをお願いします。	投力を高めることにつながる新しい種目を、昨年度、取り入れました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度の途中から非接触の種目に限定して実施しています。
33	(事業番号209) 地域学校協働活動推進事業…学校運営協議会(CS)とも連携させ、ぜひ学校と地域をコーディネートする人材育成養成事業を望みます。	学校と地域をコーディネートする人材の育成については、地域学校協働活動推進員等(コーディネーター)研修講座を実施し、コーディネーターの資質向上を図るとともに、コミュニティ・スクール研修会を開催し、文部科学省CSマイスターによる講演等とおして、学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的な推進についての理解を図っています。今後とも、地域コーディネーターの資質向上に向け、講座や研修会の内容を充実させてまいります。
34	大変多くの事業が進行していて、非常に多くの担当課が分掌しています。「こども庁」、「こども家庭庁」の動きもあるようですが、千葉県においても整理統合が必要と思いますが、そうした動向について教えてください。	国の動向を注視しつつ適切に対応してまいります。
35	1～2歳児の定員を増やすためには、質の高い保育人材の確保が必須です。1～2歳児5～6名に一人の保育者では、とても安心安全な保育はできません。保育者の配置を改善し、質の高い人材確保のために、千葉県で今後も取り組みをお願いしたいと思います。事業番号148も、それを原資として市町村独自の上乗せを行って保育士確保を図っているケースもありますが、それも市町村の体力次第であり、中核市や東京都との比較でなかなか近づけないのが現状です。より一層の充実を希望します。	事業番号148「千葉県保育士処遇改善事業」とは別に民間保育所等に入所する児童の処遇向上を図るため、国の基準を上回って保育士を配置した保育所等に対し、その雇用に伴う経費に対して県単独で助成しています。
36	事業番号95児童虐待防止対策の充実については、喫緊の問題であり、早急の充実を望みます。	貴重なご意見として受け止めます。引き続き、増加・深刻化する児童虐待の防止に向け、児童相談所体制を整備し、児童虐待の未然防止、早期発見・対応、被虐待児童及び保護者等へのフォローアップなど、児童虐待事案への対応力の強化を図ってまいります。
37	事業一覧については、事業内容が多く読み取れずすみません。コロナの状況で家庭環境も変化しています。在宅勤務になり父親が一日中家にいるようになった、収入が減り金銭面の心配がある、母親が就労を始める家庭が増えているなど、様々な要因が挙げられます。本当に困っている人、支援が必要な人は、県や市で計画されている良い事業さえも知らずに、悩んでいる方もいると思いますので、発信方法を工夫する必要があるのではないかと思います。	貴重な御意見として受け止めます。
38	実績の中に実施した中での問題点を記載する事はできないのでしょうか。また計画のめざす姿やねらいを知りたいです。	貴重な御意見として受け止めます。今後検討してまいります。
39	令和2年度はコロナの影響で、予算と決算額に差が生じたように感じます。令和3年度も同様となるかと思いますが、来年度もそれを見据えて、事業を計画していく必要があるかと思いますが。	貴重な御意見として受け止めます。いただいた御意見は、関係課で共有させていただきます。
40	コロナ禍であり、対面で実施する施策が難しかったのかなと思いました。例えば、「1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の受診率」、「1歳6ヶ月児健康診査・3歳児健康診査の未受診児の状況把握」の受診率などでそのように感じました。1歳6か月検診や3歳児検診は子どもの最低限の育ちの基盤を保障するものと考え、全ての子どもに受けて欲しいと思います。何とか実施する方法を考えられたらいいと思います。(資料4目標項目20、21)	新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、1歳6カ月児健診と3歳児健診について、集団健診から医療機関における個別健診へ切り替えた場合に生じる市区町村の負担を軽減するための国の予算があります。これらの補助金に関する情報提供を円滑に行い、市町村事業の運営支援を行ってまいります。
41	放課後児童クラブ数が増加しているのに対し、資質向上研修修了者の人数が減少している事が気になりました。遅い時間まで多感な年頃の児童たちを預かるというとても大変なお仕事だと思うので、保育士の給与や労働環境が改善されていくのに合わせて、児童支援員さんたちの労働条件も見直して欲しいと思います。(資料4目標項目62)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、予定人数の半数で実施いたしました。令和3年度(以降)は、感染症の影響を考慮し、研修定員の2倍以上の収容できる施設での研修とリモート研修を組み合わせるなどにより実施しています。

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
42	<p>利用者の拡充に伴い放課後児童支援員の人員不足は、保育士不足と合わせて深刻な問題になっています。国の処遇改善補助金の活用を促進してください。また、資質向上も非常に重要なテーマです。資質向上の研修について、支援員等が参加しやすい場所や時間帯を考慮し、更に増やしてください。また各市町村に国の補助を使った研修を積極的に進めることや県の研修にも参加する様に繰り返し通知してください。</p>	<p>放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、県では国の補助金等を活用し運営費等への補助を実施しています。 また、ちば保育士・保育所支援センターにおいて、保育士、放課後児童支援員等の就業等の支援を実施しています。 さらに、研修については、資質向上研修について、感染症の影響を考慮し、研修定員の2倍以上の収容できる施設での研修とリモート研修を組み合わせるなどにより実施しています。</p>
43	<p>全体的には、関係者のご努力により、向上していると判断されます。問題は、人材の確保であり、賃金との関係があり、ただちに向上することは困難であると思います。今後の日本のため、千葉県のため、高い順位を付けなければならないところですので、国の基準にとらわれることなく、県独自の施策の充実を望みます。</p>	<p>本来、保育士の処遇改善については、国において公定価格の引上げなどにより取り組むべきものと考えており、引き続き様々な機会を捉えて国へ要望していきます。なお、保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置を、2月から前倒しで実施することが閣議決定されております。 千葉県保育士処遇改善事業費補助金の増額については、各市町村及び関係団体の御意見を広く伺い、検討していく必要があると考えています。</p>
44	<p>「3①ワーク・ライフ・バランスの推進：18 仕事と生活の両立が図られていると感じる家庭の割合」・・・調査対象はどのような方々なのでしょう。正社員のみではなく、パート・派遣・ひとり親等様々な方が対象となっているのでしょうか。（資料4目標項目18）</p>	<p>市町村が実施する1歳6か月児健診の際に協力頂けた保護者を対象にアンケートを実施しています。調査は、無記名で行っており正社員等の選択肢は設けておりませんが、正社員に限らず、様々な雇用形態の方に御回答いただいていると考えます。</p>
45	<p>「I 3②男女が協力して子育てできる環境づくり：19積極的に育児をしている父親の割合3・4か月児健診（健康相談）時、1歳6か月児健診時、3歳児健診時」・・・健診に付き添ったから「積極的に育児をしている父親」と言えると判断する設問は、少し残念な気がします。それも大事な第一歩かもしれませんが、普段の生活の中での育児が大変なのであって、何か月かに一度の健診くらい一緒に行くのが当たり前と思える環境が出来ることを願います。（資料4目標項目19）</p>	<p>委員から御意見中に「健診に付き添ったから「積極的に育児をしている父親」と言えると判断する設問」とありましたが、指標の算出方法は以下のとおりです。 各健康診査の間診必須項目として「お子さんのお父さんは、育児をしていますか」と設問があり、4つの選択肢からか1つを選び回答します（選択肢は次の4つ：1.よくやっている、2.時々やっている、3.ほとんどしない、4.何とも言えない）。 全回答者のうち、1.よくやっていると回答した者の百分率を算出します。貴重な御意見として受け止めます。</p>
46	<p>「II 5②学ぶ力の向上、健康・体力づくりの推進：23主体的に授業改善に取り組んだ学校の割合」・・・どのような問題に対し、どのような改善策をとったのでしょうか。また、結果としてどのような改善が見られたのでしょうか。（資料4目標項目23）</p>	<p>全国学力・学習状況調査の結果より、記述式問題が千葉県の課題であることがわかりました。改善策として、「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを効果的に活用するリーフレットを作成し、各学校の授業改善を促しました。結果として、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合が増加しました。</p>
47	<p>「II 6② 児童虐待防止対策の充実：26養育支援訪問事業の実施市町村」・・・54市町村のうち事業を行っていない17市町村は、①何故行わないのでしょうか、②どのような問題があるから行えないのでしょうか、③いつから行う予定なのでしょうか。（資料4目標項目26）</p>	<p>実施しない理由は訪問者の確保や訪問者の資質の確保等が考えられます。実施していない市町村へは課長会議、研修等を通じて実施を促していきます。</p>
48	<p>「III 9①安心して子育てできる環境の整備：66子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合（子育て環境に対する満足度）」、「III 9①安心して子育てできる環境の整備：67子育てを楽しいと感じる家庭の割合」・・・①調査対象はどのような方々なのでしょう。正社員のみではなく、パート・派遣・ひとり親等様々な方が対象となっているのでしょうか。②この設問の意図を教えてください。（資料4目標項目66、67）</p>	<p>①について 市町村が実施する1歳6か月児健診の際に協力頂けた保護者を対象にアンケートを実施しています。調査は、無記名で行っており正社員等の選択肢は設けておりませんが、正社員に限らず、様々な雇用形態の方に御回答いただいていると考えます。 ②について 子育て中の保護者の方の意見を聞き、次世代育成支援施策の推進を図ることを目的に実施しています。今後も、子どもを生き育てやすいと感じる家庭がより増えるよう子育て環境づくりの推進に役立ててまいります。</p>
49	<p>（資料4目標項目23、24）学ぶ力の向上・健康・体力づくりの推進について、コロナ禍にあって学校は、GIGAスクール構想の実施に熱心に取り組みました。そのスピード感は顕著です。同時に令和の日本型教育の提唱に注視し地道な努力を重ねた結果が授業改善の向上に結びついています。 一方体力の低下について危惧しています。各種スポーツ大会が中止され、モチベーションを保持できない児童生徒も多くいます。R3新体力テストの数値はどうなのでしょう。日常の体育授業とともに部活動の在り方の先を見据えて、生涯スポーツの観点からも健康体力増進に結びつくような方策を県や各自治体、レク・スポーツ協会で連携し、様々な運動する機会の提供をお願いします。</p>	<p>令和3年度の調査では、令和元年度と比較して、全体的に体力が低下しています。新型コロナウイルスの影響で、学校の休校や体育や部活動の制限が大きく影響していると考えられます。また、子供たちのスクリーンタイムの増加が体力の低下に影響していると考えられます。体育の授業改善により、「できる」体験を多くさせ、進んで運動に取り組む子供を増やし、体力を向上させていきたいと考えています。</p>
50	<p>令和元年から始まった新型コロナウイルス感染のパンデミックの影響が、様々な分野に影響をもたらしましたが、令和2年度末の達成状況が上向きのもので多くみられ、良かったと思います。そうした中、子どもの保健分野で、健康診査の受診率低下が気になります。感染を警戒した受診控えが主たる要因と思いますが、令和3年度は大きな感染拡大と規制が続いたため、さらなる受診率の低下が危惧されます。ここでは集計が示されていませんが、定期予防接種の接種率にも影響があったと推測されます。もし、情報がありましたらお願いします。</p>	<p>子どもの定期予防接種の接種率については、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念していましたが、令和元年度が95%、令和2年度が98%となっており、接種率の低下は見られませんでした。</p>



各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
51	<p>目標への達成状況が低下している事業（健診率、アドバイザー派遣、交流を要する事業等）は、コロナの影響でしょうか？低下理由の分析が必要と思います。</p>	<p>【目標項目 5】 令和元年度は、大型台風による甚大な被害があり、当初予定していた職場体験やインターンシップ等が中止になったことが原因と考えられます。（学習指導課）</p> <p>【目標項目 6】 子供たちの勤労観、職業観を育むために、保護者や大人の働く姿に接することができるよう、企業等に働きかける「子ども参観日」のキャンペーンは、新型コロナウイルスの感染拡大により、実施を見合わせる企業等が多く、目標達成に至りませんでした。今後とも感染状況を考慮しながら、実施を働きかけてまいります。（生涯学習課）</p> <p>【目標項目 13、14】 新型コロナウイルス感染症の流行により、受講希望していた講座自体の延期、中止等のほか、子を持つ親として外出の際での感染を恐れる心理なども影響し、事業利用の低下につながったものと考えられます。事業においては通信講座等の利用も可能であるため、この点も含め、市町村をとおして事業の周知を行います。（児童家庭課）</p> <p>【目標項目 20、21】 新型コロナウイルス感染症の流行により、健診の延期、中止等のほか再開後であっても外出の際での感染を恐れる保護者の心理なども影響して、健診率の低下につながったものと考えられます。今後とも感染状況を考慮しながら市町村をとおして健診の必要性を訴えていきます。（児童家庭課）</p> <p>【目標項目 22】 幼児教育アドバイザー派遣数の低下ですが、新型コロナウイルスの影響により、園からの派遣要請が大幅に減少したことが原因であると考えられます。（学習指導課）</p> <p>【目標項目 24】 子供たちの遊びが変化し、ゲームなどの時間が増加して、運動する機会が減少していることが、子供たちの体力の低下傾向に影響していると考えています。 令和3年度の調査では、令和元年度と比較して、全体的に体力が低下しています。新型コロナ感染症の影響で、学校の休校や体育や部活動の制限が大きく影響していると考えられます。また、子供たちのスクリーンタイムが長いほど体力が低いという調査結果も出ています。体育の授業改善により、「できる」体験を多くさせ、進んで運動に取り組む子供を増やし、体力を向上させていきたいと考えています。（体育課）</p> <p>【目標項目 41】 令和2年度調査の時点で緊急事態宣言中であったため、保護者面談による実態把握や作成が間に合わなかったことが考えられます。（特別支援教育課）</p> <p>【目標項目 49】 人材確保事業については、例年と変わらず実施している。引き続き増加を目指します。（子育て支援課）</p> <p>【目標項目 50】 待機児童対策のために保育所等の新規開設件数が増加していることから、勤続年数を押し下げる効果があったものと考えられます。（子育て支援課）</p> <p>【目標項目 52、53】 コロナによる利用者の減少が主たる要因であると考えられます。（子育て支援課）</p> <p>【目標項目 62】 令和2年度は、コロナ対策のため、予定定員の半数で研修を実施するなどしたためです。（子育て支援課）</p> <p>【目標項目 68】 地域福祉フォーラムについては、新型コロナウイルスの影響で活動できない団体があったことが原因と考えます。（健康福祉指導課）</p>
52	<p>幼児に関わる立場として、入園前にオムツが外れていない、言葉の遅れている幼児が増えている、軽度で支援を要するお子様が多い、家族以外の話し相手がいない、子供に失敗させないように事前の準備が周到である、過保護・過干渉などの現状があります。また、多国籍や家庭支援が必要なお子様も多くなっています。1歳6か月健診や3歳児健診の様子で、何か気になることがあった場合、浦安市ではお知らせしていただきとても助かっています。園では優しかったのに小学校では虐めっ子・しっかり者のリーダー格だったのに不登校などということもありますので、施設ごとの繋がりも大切だと思います。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
53	<p>例えばI1①の10代の人工中絶について、現状3.8の数字の意味が分かりません。また3.5になった要因はなんのでしょうか。資料3と見比べると、どこを見ればよいのかわかりません。（資料4目標項目1）</p>	<p>資料4目標項目1に記載してあるとおりで、「20歳未満の女子人口千対」になります。 資料3の事業一覧との関連では、①通し番号3、事業番号2「思春期保健相談事業」における思春期保健講演会における身体や性に関する知識の普及啓発を図ること、②通し番号25、事業番号21「妊娠SOS相談事業」における予期しない妊娠など、様々な事情から妊娠出産に不安や悩みを抱える女性等からのSOSに対する相談支援が挙げられます。 これらの事業等とおして、10代の人工妊娠中絶率の減少を目指します。</p>

各委員の御意見等まとめ

整理番号	委員御意見	意見に対する回答
54	目標の数値に向けて、よろしく願いいたします。	貴重な御意見として受け止めます。
55	<p>計画立案の枠組みや評価指標によりやむを得ない事であるが、定量的データと定性的データを総合的に評価した結果とは言いがたい印象を受けました。</p> <p>特に、社会的養育（養護）において児童の死亡事件を体験したり、児童養護施設での被措置児童等虐待が後を絶たない状況で、単に「自立援助ホーム」が計画数通り新設できたことで「達成」との評価は安易な気がします。一部老朽化が進む児童相談所の一次保護所の子どもたちの置かれている状況は、重なるネグレクト・心理的虐待さえ危惧されます。計画全体において、進行管理をより専門的観点からの評価を可能とする手法やスケールの必要性を感じます。（資料4目標項目31）</p>	<p>貴重なご意見として受け止めます。</p> <p>県では、千葉県児童福祉施設協議会が設置する施設生活等評価委員会が行う、施設を訪問し、子どもの権利が保障され適切な養育を受けているか評価する事業等に係る費用の補助を実施しております。</p> <p>また、児童の権利擁護等の内容を含む基幹的職員研修の実施や、各研修に参加する費用の補助を実施することで、施設職員の資質向上に努めております。</p> <p>また、県有建物長寿命化計画に基づき、施設が老朽化している柏児童相談所及び銚子児童相談所について令和4年度に着手できるよう建替等の検討を進めているところです。</p>
56	<p>資料を読むだけでは見えてない部分がたくさんあると思うので、お役に立つ意見を出せているかわからず、拙い文章で失礼いたします。今年、第4子が入学し、初めて学童を利用しましたが、環境が合わなかったようですすぐに辞めてしまいました。昨年度コロナ禍においては、幼稚園の延長保育を利用しながら仕事をすることに困難を感じました（幼稚園の方針にも左右されるかもしれません。）。また、4月から保育士として小規模保育所で働き始めたので、自分の家庭と仕事を振り返り、日々感じていることを書かせていただきました。よろしく願いいたします。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
57	<p>現在、コロナ禍の状況で思う様に事業が進まない事も多くあると思いますが、国の予算も毎年増額されて行きますので、今後とも子育て支援の事業を拡充や人材の確保を県として行ってください。宜しく願い致します。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
58	<p>新型コロナによる影響が、子育てや子どもの育ちに大きく影響していると感じます。2～3カ月にわたる休園期間は、子どもの体力や心身の発達が止まったままだったように思います。親も子どももギブアップ、現代の家庭の育児力はこんなに乏しかったのだと感じました。スマホをおもちゃ代わりに子どもに与えることが当たり前、3年保育入園児のオムツ着用率が1/4と過去最高でした。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
59	<p>子育て支援事業も休止や縮小せざるを得ず、親の支援の重要性を感じています。家庭だけでは子どもが育たない、認定こども園、幼稚園、保育園等がその施設や機能を開放し必要に応じて専門機関（児相、子相、自発等）と連携し、すべての子どもと家庭のための子育て支援に取り組む必要があると痛感しています。児童虐待防止や障がい児の支援への第一歩は、すべての子どもと親への子育て支援からです。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
60	<p>浦安市はデータからも待機児童はいませんが、ここ数年資格を持つ職員不足で苦労しています。質の高い教育に危機感を感じます。子育て支援もコロナの状況からうまく進まないこともある中、工夫しています。職員のメンタル、健康状態を整える必要もあると思います。家庭の事情は、深くまで介入できませんが、貧困問題も出てきていると思います。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>
61	<p>それぞれの部署において、最善の支援事業を展開されておられることと思います。多くの方の理解と信頼があつての支援実績と考えます。ありがとうございます。コロナ禍による社会のひずみが、弱者への育ちの弊害や格差を生み始めることを想定した対策が必要と感じます。</p>	<p>貴重な御意見として受け止めます。</p>